

令和5年度

静岡県産業安全衛生大会

令和4年の静岡県における労働災害は、死亡者数が30人で前年の23人から7人増加し、休業4日以上之死傷者数は前年に比べ107人増加して、4,547人となりました。死傷者数はここ数年増加傾向にあります。

本年は第14次労働災害防止5か年計画の初年度で、静岡労働局管内では、今計画期間中の目標は、①第13次計画期間中の結果と比べ、死亡災害を5%以上減少させること ②増加が続いている休業4日以上之死傷災害について、最終年度の令和9年までに死傷者数を令和4年と比較して減少に転じさせることとされています。目標達成に向けて、災害が多い業種や年齢等労働者の属性、災害の態様等に応じた災害防止対策を講じていくとともに、メンタルヘルス対策等労働者の健康確保対策に取り組むことが必要です。

このような中、公益社団法人静岡県労働基準協会連合会と各地区労働基準協会は共同して、関係行政機関等のご後援、労働災害防止団体等のご協賛を得て、静岡県産業安全衛生大会を下段のとおり開催することといたしました。静岡県内において、産業安全や労働衛生管理等の業務に尽力されている多くの関係者の方々に、災害防止の取り組みを一層推進する契機として、本大会への参加を呼び掛けるものです。

本大会では、「人口減少社会の迎え方—歴史人口学の視点から未来を創る—」と題して、静岡県立大学前学長・上智大学名誉教授の鬼頭 宏 様から特別講演をいただきます。鬼頭先生は静岡県ご出身で、経済学、経済史、特に歴史人口学の研究を行っていらっしゃいます。日本の将来推計人口が本年4月に公表されましたが、これをベースに、労働力や働き方を中心に、これからの100年についてお話しいただきます。皆様方には大いに参考になると思われます。

本大会に参加を希望される方は、大会参加申込書（裏面55）により9月22日（金）までに、各地区労働基準協会（非会員は連合会でも可）にお申し込み下さい。参加費は無料です。

と き 令和5年10月5日（木）13時（受付開始 12時20分、終了 16時30分）

と ころ 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」11階 会議ホール・風
（静岡市駿河区東静岡2丁目3-1）

会場への交通手段

◎電車 東海道本線「東静岡駅」下車徒歩約3分

◎車 東名高速静岡ICから約20分 日本平・久能山ICから約10分（駐車場・有り 有料）

主 催

公益社団法人静岡県労働基準協会連合会
三島労働基準協会・沼津労働基準協会・富士労働基準協会・清水労働基準協会・静岡労働基準協会
島田労働基準協会・一般社団法人磐田労働基準協会・一般社団法人浜松労働基準協会

後 援 静岡労働局・静岡県・一般社団法人静岡県医師会・日本労働組合総連合会静岡県連合会

協 賛

建設業労働災害防止協会静岡県支部 陸上貨物運送事業労働災害防止協会静岡県支部
港湾貨物運送事業労働災害防止協会東海総支部清水支部
林業・木材製造業労働災害防止協会静岡県支部
一般社団法人 日本ボイラ協会静岡支部 一般社団法人 日本クレーン協会静岡支部
公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会静岡県支部
独立行政法人 労働者健康安全機構 静岡産業保健総合支援センター
一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会静岡支部

大会次第

- 1 開会のことば 富士労働基準協会会長（連合会・安全衛生部会長）
- 2 大会あいさつ （公社）静岡県労働基準協会連合会会長
- 3 表彰式 （1）静岡労働局長表彰
（2）静岡県労働基準協会連合会会長表彰
- 4 祝辞等 静岡労働局長 様
静岡県知事 様
静岡県医師会長 様
日本労働組合総連合会静岡県連合会長 様
祝電披露
- 5 表彰者代表謝辞
- （休憩）
- 6 特別講演 『人口減少社会の迎え方—歴史人口学の視点から未来を創る—』
演者 鬼頭 宏 様
（静岡県立大学前学長 上智大学名誉教授）
- 7 大会宣言 三島労働基準協会会長（連合会・副会長）
- 8 閉会のことば （一社）磐田労働基準協会会長（連合会・安全衛生部会副部会長）

令和5年度 静岡県産業安全衛生大会 参加申込書

事業場・団体名			
所在地			TEL
参加者職名	氏名	参加者職名	氏名

労働基準協会 御中

※ 記載いただいた個人情報につきましては、当連合会が責任をもって管理し、本大会の的確な実施のためにのみ使用いたします。